グローバル行動基準

CoorsTek

目次

共同CEO からのメッセージ **3**

The CoorsTek Way **4**

グローバル行動基準の理解 **5**

皆さんの責任 5

懸念事項の共有 5

尊厳と敬意に関するコミットメント **7**

同僚への敬意 **8**

多様性、包容力、差別禁止 8

ハラスメント防止および報復防止 9

人権 9

健康と安全 **10**

安全な職場環境 10

薬物乱用 11

職場での暴力 11

プライバシーおよび個人情報保護 **12**

責任へのコミットメント **15**

環境 **16**

品質 **17**

機密情報および知的財産 **18**

会社の資産 **20**

誠実さへのコミットメント **23**

監督 **24**

正確な事業記録と財務記録 24

CoorsTekを代表しての声明 25

利益相反 **26**

贈答品および接待 27

ベンダーとの関係 27

インサイダー取引 **28**

国際貿易および関税 **29**

公正な競争 **30**

独占禁止法 30

競合情報分析 31

販売・マーケティングにおける真実性 31

汚職行為防止および贈収賄防止 **32**

公務員への対応 32

商業賄賂およびリベート 33

政府との連携 **34**

政府との契約 34

ロビー活動 34

政治活動および政治献金 34

参考情報 **35**

共同CEOからのメッセージ

従業員の皆さん

CoorsTekは、100年以上にわたって、素晴らしさをもっと実感できる世界にすることへの情熱を抱く革新的な企業であることを、常に証明してきました。私たちは、材料工学における専門知識を活用し、業界最高の研究開発力・製造能力を発揮することによって、お客様に協力して比類ない価値のあるソリューションを開発してきました。

私たちはまた、道徳的に正しく、当社の価値観に一致する行いによって成功を勝ち得てきたことを、もっとも誇りに思っています。仕事において難しい決断を迫られたときは、誠実さと責任と敬意を最優先に考え、従業員、ベンダー、顧客、さらにはビジネスパートナーの皆さんが同じ考えに基づき行動することを期待しています。

当社のグローバル行動基準は、正しいやり方を行う、すなわち、敬意をもち、誠実に法令を完全に順守するという取り組みを反映しています。またグローバル行動基準は当社のグローバルな事業を律し、健全なビジネス上の意思決定を下すために必要なツールとなる基準でもあります。皆さんがグローバル行動基準をよく読んで、日々、それに従って行動することを期待しています。

CoorsTekは、グローバルなレベルでの行動規範の順守に全力で取り組んでいます。そして、皆さんにも同様の取り組みを期待しています。当社のあるべき姿と代々事業に取り組んできた姿勢に忠実に、さらにはグローバル行動基準を順守し、私たちはこれから長きに渡って正しいやり方で成功を収めるための道を歩み続けます。

ジョナサン・クアーズ、マイケル・クアーズ、ティモシー・クアーズ | CoorsTek 共同CEO

THE COORSTEK WAY

CoorsTek には、ビジネスパートナー、従業員、そして私たちの周りの世界とどのように対話すべきかを示す一連の原則があります。
私たちが製造する製品にとっても、また、従業員にとってもThe CoorsTek Wayは私たちのビジネスを行ううえでの土台を成すものです。

THE COORSTEK WAY

ビジョン｜素晴らしさをもっと実感できる世界に

より良い今日のために

- 革新の歴史から**新たな発想を得ます**
- 自らの行動に**誇りを持ちます**
- お客様、同僚、家族、コミュニティ、そして世界に卓越した**価値を提供します**
- 自らが関わるコミュニティの人々の 生活をより良くする,**最先端の解決策を提案します**

ともに発展するために

- 一人ひとりの持って生まれた価値や尊厳を**尊重します**
- 責任、リスク、機会、報賞を**分かち合います**
- お客様のもっとも困難な問題を解決するために、ともに**力を尽くします**
- 一貫性、誠意、敬意を持って**行動します**

より良い明日のために

- 限界を超えて**挑戦します**
- 未来の挑戦に向けて**進化します**
- 地球規模で**考え**、地域に根ざして**行動します**
- 長期的な視点に立ちつつ、短期的な成果を**実現します**

グローバル行動基準の理解

CoorsTekのグローバル行動基準（グローバル基準）は The CoorsTek Wayを反映しており、私たちがオープンに、誠実に、法令を守って事業を展開するための手助けとなります。CoorsTekグループ各社は、ひとつ残らず、全てのレベルの全従業員が、The CoorsTek Wayを実践し、グローバル基準に従い、他者から得た信頼を守ることを期待されています。

皆さんの責任

私たちはどこで仕事をしていようと、一人一人がThe CoorsTek Way を理解し、実践し、グローバル基準、全ての会社方針、法令を守る責任を負っています。ほんの小さな不正行為でさえ、当社の評判、当社とその顧客や地域社会との関係を損なう可能性があります。

CoorsTekは以下のことを皆さんに求めます。

- The CoorsTek Way に従って行動し、同僚にもそのように奨励すること
- グローバル基準を理解し、それを参考にし、健全な意思決定をする際の指針として使用すること
- グローバル基準、会社方針、全ての法令を順守すること
- 何が正しい行動か確信がないときは、CoorsTek社内関係者の指導を求めること
- 違反と思われるとき、または違反のおそれがあるときは、報告すること

The CoorsTek Way を実践し、グローバル基準を順守すれば、直面するあらゆる状況において役に立つことでしょう。The CoorsTek Way やグローバル基準は、皆さんが直面する全ての状況を説明することはできませんが、意思決定、コミュニケーション、行動において参照すべき指針や手段になります。　何を行うにしても常識と的確な判断力を使い、正しい行動が何であるのか確信がないときには助けを求めることが重要です。

CoorsTekはまた、管理職や上長が、従業員を実例によって導き、安心して質問や懸念について問うことができる職場環境を作り出すことを期待しています。

The CoorsTek Way、グローバル基準、方針、法令を破れば、誰でも是正措置や懲戒処分の対象となり、CoorsTekでの職を失うこともあり得ます。

SHARE YOUR CONCERN

懸念事項の共有

The CoorsTek Way を実践し、誠実に業務を行う際に不可欠なのは、当社のグローバル基準、方針、法令への違反があった可能性があるときに対応をすることです。不正行為の疑いがあるときは、それを明らかにして**懸念事項を共有**することが重要です。

懸念事項に対して声をあげ、共有するには多くの方法がありますが、以下のような手段を取ることができます。

- 上司またはその上の管理職に知らせる
- 人事、安全衛生、法務など社内の他の部門に報告をする
- CoorsTekの共同CEOに以下アドレス宛に直接連絡する ShareYourConcern@CoorsTek.com
- 北米またはアジアで勤務している場合は、CoorsTekの**懸念事項の通報ライン**にお問い合わせください。
  - **Phone: +1 800 461 9330**
  - **Text: +1 720 730 3215**
  - **Online: shareyourconcern.coorstek.com**

指摘に対する報復は、絶対に容認されません

会社としても、指摘をするのは必ずしも容易ではないと認識しており、**懸念事項を共有**する仕組みはできるだけシンプルに定めるつもりです。誰に連絡を取るのであれ、自分は正しいことをしており、懸案事項は速やかに、かつ適切に処理されると確信を持てるはずです。

CoorsTekは、不正行為または The CoorsTek Way、グローバル基準、方針、法令違反の疑いを誠実に報告する方に対する、いかなる報復も脅迫も許しません。誠実に懸念を表明したり、捜査に協力したりした従業員に対して報復をしたことが判明した者は、是正措置や懲戒処分の対象となり、CoorsTekでの職を失うこともあり得ます。

尊厳と敬意に関するコミットメント

同僚への敬意

尊厳と敬意をもって同僚に接します

当社のコミットメント

The CoorsTek Wayを通じて、当社は個人の価値や尊厳を重んじています。 当社の成功は、私たちが誰にでも敬意をもって接してこそ実現できます。 職場での敬意は、個々人の優秀さと共に働くチームワークと併せて、当社が目標を実現する方法です。

期待されること

多様性、包容力、差別禁止

当社は、多様な考え方が尊重され、包容力のある、敬意に満ちた職場を育むことを誓います。当社は、多様な経歴、才能、経験が革新の原動力となり、グローバルな顧客ベースのニーズを満たしてくれると考えています。

当社は均等な雇用機会を継続的に保証します。当社では、適用される法令に基づいて法的に保護された特性、例えば、人種、肌の色、性別、年齢、出身国、宗教、性的志向、性同一性および外見、配偶者の有無、国籍、障害の有無、妊娠、遺伝情報、軍歴の有無、所属政党、所属組合などに基づいて募集、採用、研修、報酬、昇進などの雇用上の判断をすることは決してありません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 別の部署のポジションに応募しましたが、そのポジションに必要な素養が私よりも低い人が採用されたと知りました。私が採用されなかった理由は、私が障害のある退役軍人であることを採用担当マネージャーが知っていたせいだと思います。どうすべきでしょうか？

A: 当社での採用決定は、資格や能力など客観的で関連性のある基準に基づいて行うことが求められます。障害のある退役軍人であることは判断基準になりません。差別を受けたと疑っているなら、その問題を提起し、**懸念事項を共有**すべきです。

ハラスメント防止および報復防止

当社では全ての人が尊厳と敬意をもって扱われるハラスメントのない職場環境を提供することを目指しています。他人の職務遂行能力を損なうような侮辱的、威嚇的、屈辱的、敵対的な職場環境を作る行為は許されません。ハラスメント行為には精神的、物理的、言葉による嫌がらせ、歓迎されない性的誘惑または性的な話、不快な冗談、軽蔑的なコメントなどが含まれます。

また、当社では、誠実にハラスメント行為を報告する方に対する報復も許しません。ハラスメント行為に関する苦情を出したからと言って、従業員が降格、解雇、減給を被ったり、否定的な評価を受けることはありません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 職場の同僚が絶えず宗教上の信条についてからかわれています。実際には彼が対処すべきことですが、私も何かすべきでしょうか？

A: 私たちは全員がチームの一員として働いていますから、お互いに配慮するのは重要なことです。いかなる種類のハラスメントも許してはなりません。上司または懸念事項の通報ラインに内密でこの問題を提起すべきです。

人権

当社では以下のとおり業務全般およびサプライチェーンに関わる全ての人の基本的人権および尊厳を尊重しています。

- 児童労働および強制労働を禁止し、子供からの搾取、人身売買、体罰、奴隷労働などを禁止しています。
- 法定労働時間、残業、最低賃金、雇用給付金を含む雇用条件に関する全ての準拠法を順守しています
- 結社の自由、団体交渉、労働組合への参加または不参加など、準拠法に基づく各従業員の権利を尊重しています
- 人道的で、安全で、安心できる労働条件を提供しています

当社のサプライヤーやビジネスパートナーにも、これらの原則を守っていただくことを期待しています。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 当社の請負業者の一社が児童労働者を雇用していることが判明したというニュースの記事を読みました。私自身はこの請負業者関連の仕事には関係していませんし、この請負業者を管理する私の同僚はすでにこれに対応したと思います。何かすべきことはありますか？

A: **懸念事項を共有**すべきです。人権侵害をしたことのあるビジネスパートナーとの仕事は The CoorsTek Wayに反しており、当社をリスクにさらします。

補足情報

CoorsTek サプライヤー行動規範

CoorsTek 現代の奴隷制度に対する透明性声明

健康と安全

当社は、従業員と当社とともに仕事をする人々の健康と安全を守ります。

当社のコミットメント

当社は従業員、請負業者、ビジネスパートナー、顧客、ベンダー、訪問者がどこで仕事していようと安全で健康で安心できる環境を提供することを誓います。

期待されること

安全な職場環境

全ての従業員は健康、安全、防犯を優先事項とする責任を負っています。次のような場合は、必ず声を上げて**懸念事項を共有**すべきです。

- 危険と思われる、適切な研修を受けていない、またはあなたや他の人が傷つくかもしれない作業を行うよう求められた場合
- 安全上のリスクとなる労働条件や職場環境、あるいはあなたや他の人へ危険が及びそうな、またはそのように疑われる現場を見たとき

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 上級役職者は常に安全第一について話していますが、私の上司は安全上の手続きを破ってでも、製造目標に到達できるようにしたがっています。どうすべきでしょうか？

A: 安全上の手続きには決して違反してはなりません。安全性より製造を重視するのは The CoorsTek Way とは一致しません。その問題について上司と話し合うか、それが気まずいと考える場合は、通報して**懸念事項を共有**すべきです。

薬物乱用

薬物やアルコールの悪影響のもとで仕事をする従業員は、自分や同僚を容認しがたい危険にさらします。皆さんは、職務遂行能力を低下させる可能性のある薬物の影響を受けることなく働くことを期待されています。 以下のことを守らなければなりません。

- 仕事中またはCoorsTekの敷地にいる間にマリファナ（合法に処方されたマリファナを含む）、違法薬物、規制薬物を使用したり所持したりしてはなりません。
- 安全に、そして正しく職務を遂行する能力を害する可能性のあるような方法で、アルコール、合法に処方された薬物（マリファナを含む）や市販の薬剤を使用してはなりません。
- 違法薬物、マリファナ、規制薬物または処方された薬剤を仕事中やCoorsTekの敷地内にいる間に販売したり、人に与えたり、配布したりしてはなりません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 私の仕事にはフォークリフトの運転が含まれます。現在うつ病に対して処方された薬剤を飲んでいますが、眠くなる副作用があります。上司に自分の症状について話すのは恥ずかしいと感じています。これまでのところ問題はありません。本当に上司に話す必要があるでしょうか。

A: はい、あります。上司または人事の担当者に知らせなければなりません。当社はあなたの安全とあなたのチームの安全を重視しています。機器を操作している間、あなたの能力が損なわれていないことが最も重要です。あなたのプライバシーおよび病気に関する秘密は守ります。

職場での暴力

職場における暴力行為や暴力による脅しを一切許さないことが必要です。以下のことを守らなければなりません。

- 建物の中にいかなる武器も持ち込ませず、持込を許可しないこと
- 口頭による攻撃、脅迫、敵意・威嚇・攻撃の表明など、誰かが脅かされて危険にさらされ、恐ろしいと感じるような行為を行ったり、それを許したりしないこと
- 暴力事件が起こりそうである、誰かの身が危険にさらされている、または誰かが会社の建物内に武器を持ち込んでいることを知っている、またはそれが疑われる場合は**懸念事項を共有**してください。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 私の上司はしょっちゅうカッとなり、私の同僚や私に対して攻撃的に怒鳴ります。これは職場での暴力に当たるでしょうか。

A: 場合によりますが、そのような状況は敵対的な職場環境を生み出してしまいます。**懸念事項を共有**すべきです。

補足情報

CoorsTekのイントラネット上にある グローバルEHS ページ にアクセスし、薬物乱用、安全な職場環境の促進、従業員全員の健康と安全の保護に関するCoorsTekの 基準を確認してください。

プライバシーおよび個人情報保護

当社ではあらゆる人のプライバシーを尊重します。

当社のコミットメント

当社では同僚やビジネス関係にあるその他の人々のプライバシーを尊重し、その個人情報の取り扱いに注意を払います。「個人情報」とは、直接および間接的に個人を特定するために使われるあらゆる情報を指します。

大半の国では、個人情報保護法令によって、責任をもって個人情報を収集、保管、使用、共有、移転、廃棄する方法を規定しており、当社はこれらの法令が適用されるすべての地域で、順守することを目指しています。

期待されること

皆さんには以下のことが期待されています。

- データ保護方針に従い、託された個人情報を保護すること
- 関連性のある適切な事業目的に使う以外には個人情報を収集、アクセス、使用、保持、開示しないこと
- 個人情報を、CoorsTekの社内、社外を問わず、業務上合法的に知る必要がある相手以外と共有しないこと
- 不正アクセスから個人情報を安全に守るために必要な措置をとること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: CoorsTekでは従業員に割引価格でジムの会員権を提供しています。ジムは、まだ会員となる申込を済ませていない従業員全員に対し招待状を送りたいと考えています。この招待状にはジムに関する販促情報と申込方法が含まれています。ジムは同僚の名前と住所のリストを提供するよう求めてきています。このような情報を提供しても良いものでしょうか。

A: 場合によりますが、何か行動を取る前に、CoorsTekの法務担当に問い合わせ、指示を受けてください。ジムは善意で情報提供しようとし、同僚はこの販促情報を受け取りたかったかもしれませんが、同僚の個人情報をジムに提供するという行為は、個人情報を非公開にしておくという当社の方針に反するおそれがあります。

補足情報

CoorsTekのイントラネットの プライバシーおよびデータ保護ページ にアクセスし、プライバシーおよび個人データ保護に関連するグローバル方針および手続について確認してください。

責任へのコミットメント

環境

当社は自分たちが利用する環境と自然資源を保護します。

当社のコミットメント

当社は地球環境、自然資源、人々の健康を保護し、回復させ、保全する方法で事業を行うことをこころがけます。

当社は、この方針を実現するため、次のことに注力します。

- 当社の事業運営による環境への影響を最小化する方法を考え出し、実施すること
- 製造プロセスの全ての段階において、廃棄物および汚染物を削減または除去すること
- 公害防止制度およびリサイクリング制度を実施すること
- 環境関連の法的規制要件を満たすか、さらに厳しい基準をクリアすること
- 責任ある環境関連の実施施策を、経営上の意思決定として行うこと
- ビジネスパートナーやサプライヤーにも、当社の環境方針の共有を奨励すること

期待されること

皆さんには以下のことが期待されています。

- 環境上の懸念があれば、直ちにその状況を報告および是正する措置を取ること
- 皆さんに適用されるCoorsTekの環境方針と手続を理解し、それに従うこと
- 皆さんに適用される環境関連法令・規制を理解し、それに従うこと
- CoorsTekの環境方針、手続および環境法令、環境規制について質問や懸念などがあれば、CoorsTekの安全衛生・環境担当から指導を受けられるよう、連絡を取ってください。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: ある設備に設計上の欠陥があり、環境に害を与える可能性のある液体が漏れてしまうおそれがあります。どうすべきでしょうか？

A: 環境に害を与えたり、人体の健康に危険を及ぼすことのある欠陥について知ったり、疑いをもったときは直ちに**懸念事項を共有**しなければなりません。

補足情報

CoorsTekのイントラネットから グローバルEHSページ にアクセスし、当社の環境基準、方針、手続について役に立つ情報を確認してください。

品質

当社は、製品やサービスの品質については、決して妥協をしません。

当社のコミットメント

当社では顧客の要件を理解し、それに毎回期限厳守で応えることにより、優れた品質を顧客に提供するという約束を果たしています。当社の製品及びサービスの品質はCoorsTekの評判の基本になるものであり、全ての従業員が、全ての局面で、品質を向上させるために協力し、継続的な業務改善を実行します。

期待されること

従業員は、常にCoorsTekの製品とサービスが品質に関する約束を尊重していることを確かなものにしなければなりません。皆さんには以下のことが期待されています。

- 皆さんが責任を持って働いて製造した製品や提供したサービスに適用される全ての品質基準、方針、手続を知り、それに従うこと
- 偽りの、紛らわしい、または不完全な情報を、顧客に対して、あるいは検査、試験、その他の品質記録のために提供したり、提供することに関与したり決してしないこと
- 皆さん自身が製造や提供を行った、あるいはそれに対して責任を負っている製品やサービスに適用される全ての法令、規制、仕様、試験手続、契約条件を順守すること
- 適用される法令、規制、仕様、試験手続、契約条件に関して質問や懸念があれば、CoorsTekの品質担当から指導を受けられるよう、連絡を取ること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: ある部品の品質試験が、製造ラインのずっと後の工程でも繰り返し行われています。この試験を省いて製造速度を上げるべきですか？

A: 必要な試験を省くことは決して許されません。効率を改善するアイデアがあるなら、ぜひとも共有してください。しかし、製造工程が評価を受け、変更されるには、高品質の製品の供給を確実に保証するための全ての手順を決められたとおりに完了しなければなりません。

補足情報

CoorsTekのイントラネットの グローバル品質ページ にアクセスし、グローバル品質方針・手続、計測法のベストプラクティス、プロセス管理、構造問題の解決などについて確認してください。

機密情報および知的財産

当社では我々とビジネスパートナーの最も価値が高く、かけがえのない資産を保護します。

当社のコミットメント

当社の機密情報や知的財産は当社で最も重要な資産のひとつです。それらは多くの投資および長年にわたる大変な努力の成果です。また、それらは顧客やビジネスパートナーのために、戦略的な研究開発や素材に関する専門知識を通じて、革新的な実現力のあるソリューションを開発するのにも役立ちます。

機密情報	知的財産
機密情報には: ・ 事業計画、マーケティング計画 ・ 戦略、キャンペーン ・ 予算、予測、実績 ・ 価格・販売データ ・ 顧客・サプライヤー・従業員のリストおよび記録 ・ 製造方法、製造手順 ・ 技術・エンジニアリング・科学の研究開発 ・ その他の機密、競争上の秘密、または独自情報などが含まれる可能性があります。	知的財産には: ・ 特許 ・ 企業秘密 ・ 著作権 ・ 商標 ・ 設計、ロゴ、ブランド ・ ノウハウ ・ 発明 ・ プロセス、能力、素材などが含まれます。

法律が許す範囲内で、知的財産には従業員が職務に関連して、あるいは会社の資源または情報を使って作成した作業成果物も含まれます。

期待されること

皆さんが雇用されている間に、CoorsTek、顧客、サプライヤーまたはビジネスパートナー、その他第三者の知的財産や機密情報に接することがあるかもしれません。その場合に皆さんが守るべきことは次のとおりです。

- CoorsTekの法務担当によって承認された適切な許可およびライセンス契約を経ずに、第三者が当社の知的財産を利用することを許可しないこと
- 速やかに作業成果物を開示して、CoorsTekの他の知的財産と同等の保護を受けられるようにすること
- CoorsTekの情報は、既に公知になっている場合を除いて、機密または競争上の配慮を要する情報に該当することを常に想定しておくこと
- CoorsTekまたは他社に関する機密情報を保護するために、常に合理的で必要な予防策を講じること
- 合法な事業目的のために適切に許可され、CoorsTekの法務担当が承認した書面による機密保持契約が締結されない限り、CoorsTekまたは他社の機密情報をCoorsTekの部外者に対して決して開示しないこと
- 機密情報を知る必要がある場合のみ、CoorsTek社内および同僚間で機密情報を共有すること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 地元のビジネススクールでマーケティング講座を受け持つように頼まれました。CoorsTekがマーケティングキャンペーンをいかに開発したかを話せば学生は議論しやすいと考えています。この仕事について授業で話し合っても良いですか？

A: CoorsTekの法務担当の承認を受けた場合のみ許可されます。CoorsTekのマーケティングキャンペーンは、CoorsTekの資産であり、会社の時間、資源、情報を用いて開発されたものです。その仕事の多くはCoorsTekの商標やその他の知的財産を含む可能性があります。その仕事には、CoorsTek独自の情報が含まれていて、会社の外に公開することが適切ではない場合もあります。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: マネージャーから機密のビジネス情報が記載されたEメールを受け取りました。このメールを社外の誰とも共有できないことは分かっていますが、同僚と共有することはできますか？

A: 同僚がそれを見る許可を得ていない限りできません。まずマネージャーに誰とそのEメールを共有できるか尋ねるべきです。そうすれば、機密のビジネス情報を閲覧する許可を得ており、職務の一環として知る必要がある従業員とのみ共有していると確信が持てるからです。

補足情報

CoorsTekのイントラネットの 知的財産および機密情報ページ にアクセスし、CoorsTekの知的財産および機密情報に関するガイダンスを確認してください。

会社の資産

私たちは、会社の物的、電子的、情報上の資産を護らなくてはなりません。

当社のコミットメント

当社の資産は、日々の事業において使う道具であり、情報です。私たちは戦略的に会社の資源を配分し、従業員に会社の資産を委ねて、従業員がその仕事を成し遂げて会社の目標達成に貢献できるように努めています。

当社の資産には物理的な財産、たとえば会社の資金、車両、コンピューター、施設、工具、備品、機器、在庫などが含まれています。また、会社の勤務時間、機密情報、知的財産、および情報システムなどの無形資産も含まれます。

期待されること

CoorsTekは、皆さんが会社の資産を誠実に、効率的に使ってくれることを期待しています。皆さんには以下のことが期待されています。

- 会社の資産を、合法な事業目的に限り、その使用が意図された方法でのみ使うこと
- 会社の資産を窃盗、損失、損傷または悪用から積極的に保護すること
- 金融取引は、必要な承認を受け、適切な文書が用意され、当社の方針が順守される場合のみ行うこと

CoorsTekの情報、テクノロジーツール、システムに携わって仕事をする場合、全てのITセキュリティ措置とアクセスするシステムに適用される社内統制に従わなければなりません。

電話、コンピューター、Eメールなど会社の資産を私用に使うのは、限定的に認められていますが、そのような個人的な使用が職務の邪魔にならず、当社の方針違反でないことを確認しなければなりません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 私は時々結婚式への招待状や誕生日に関する通知のデザインや印刷を頼まれることがあります。 来たる同僚の結婚式のために招待状をデザインし、印刷するよう頼まれました。 これを行ってもよいでしょうか？

A: 仕事以外の時間に行い、自分のコンピューターや機器を使う場合のみ可能です。 CoorsTekのコンピューターや機器、また仕事中の時間を使ってこの結婚式招待状をデザインするならば、それはCoorsTekの資産の悪用になります。

補足情報

IT 利用規程
グローバル出張・経費方針
CoorsTekのイントラネットの このページ にアクセスして、契約の締結およびCoorsTekの経費承認のための権限レベルについて要約された方針を確認してください。

誠実さへのコミットメント

監督

当社の会計、コミュニケーション、意思決定は、誠実で、完全であり、正確です。

正確な事業記録と財務記録

当社のコミットメント

当社の事業、収益、財務状態について正確かつ完全で分かりやすい情報を報告することは最重要の義務です。正直で誠実であるべきという義務は、帳簿、記録、協定、契約、事業計画、事業予測、検査、品質報告、規制申請など全ての事業記録に及びます。

当社の財務諸表に適用され認められている会計原則、法定要件、社内統制手続、許可された開示プロセスの全てを順守していることも確かめなければなりません。

期待されること

当社のビジネス記録における誠実さへのコミットメントは、以下のように実現されなければなりません 。

- いかなる事実や情報も、決して偽造したり、省略したり、虚偽表明したり、歪曲したり、改変したり、隠蔽したりしてはなりません
- 当社のビジネス記録の正確性や完全性を損なわせることを、誰かに奨励したり許可したりしてはなりません
- CoorsTekの財務情報を完全、公正、正確に反映している帳簿および記録を、正確に維持しなければなりません
- 社内外の監査役に全面的に協力し、いかなる情報も隠蔽してはなりません
- いずれの金融取引にも不正な日付や、紛らわしい説明や、記録上の誤り（例えば、虚偽の経費や発注、不正確な勤務時間記録、紛らわしい旅費や接待費など）が含まれないことを確かめなければなりません
- 真実の財務情報を歪めるような帳簿外会計の利用、記録のない銀行口座、裏金、その他の手法を許してはなりません

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 検査報告によると、当社が製造する部品には欠陥が含まれ、顧客の要件を満たすことができないということが示されました。ところが、品質担当マネージャーが検査報告を書き換えて部品がその要件を満たすと表示してしまいました。変更は小さなものであり、製品の性能には影響がなく、顧客は気付かないかもしれません。何かすべきでしょうか？

A: はい。直ちに**懸念事項を共有**すべきです。小さな変更であっても記録の改ざんとみなされ、当社の顧客に対する約束に反します。

CoorsTekを代表しての声明

当社のコミットメント

CoorsTekは公衆にも、ビジネスパートナーにも、規制当局にも、その他の全ての人たちに対しても、正確で完全な情報が確実に伝わるよう努力しています。そのため、当社の公式な広報担当者として数名を指名しました。

期待されること

許可がある場合を除いて、CoorsTekを代表しての声明を決して出してはいけません。そうする代わりに、情報開示の要求は全てCoorsTekのコーポレート・コミュニケーション担当に集約しなければなりません。

同様に、個人のソーシャルメディアを利用する時や、オンラインで情報交換する際は以下に気を付けなければなりません。

- CoorsTekに関して表明する意見は全て個人的なものであり、CoorsTekの意見を反映したものではないことを明確に述べる
- CoorsTekやその顧客、サプライヤー、その他のビジネスパートナーに関する機密ビジネス情報を開示しない
- 適切な許可があった場合を除きCoorsTekのロゴや商標の利用を避ける

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: ネット上でCoorsTekに対して批判的で不正確な情報を含むレビューを見ました。私は事実を知っているので、事実に即して修正したいと考えています。ネット上で対応をしても問題ないでしょうか？

A: いいえ。あなたが許可を受けた広報担当者でないかぎり、コーポレート・コミュニケーション担当に通知して、許可を受けた広報担当者にその状況に対処してもらうようにしてください。

補足情報

ソーシャルメディアおよび電子メディアの方針

利益相反

当社は会社の利益を最優先して全ての行為を行います。

当社のコミットメント

私たちは、公正な意思決定が当社にとって最善の結果をもたらすと信じています。「利益相反」が生じるのは、CoorsTekにおける地位を私利私欲のために利用したり、客観的な職務遂行に影響するような個人的な関係や利害をもたらしたりする場合です。

例えば、以下の場合に相反が生じる可能性があります。

- 家族または親密な個人的関係をもつ誰かと一緒に会社のビジネスを監督したり、実施したりしている場合
- CoorsTekにおける立場への忠誠、時間、エネルギーまたは能力を割かれるような副業または関与を容認している場合
- CoorsTekのための事業機会を自分自身のために奪ってしまう場合
- CoorsTekと競合する、協力する、または事業を共に行いたいと考えている企業を所有したり、これに投資したり、そこで働いていたり、または助言する場合。
- 慈善団体、同業団体または地域組織を支援するために承認を受けずにCoorsTekの名前、財産、または情報を使っている場合

期待されること

利益相反があるように思われるだけでも、あなたや会社をリスクにさらします。利益相反の可能性または事実に気づいたら、直ちに**懸念事項を共有**しなければなりません。

利益相反は常に問題となるとは限りませんが、開示されず、適切に管理されないでいると問題になりかねません。多くの場合、利益相反はオープンで誠実な話し合いや、適切な解決法を見つけるために協力することによって解決されます。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 重要なプロジェクトに関する助言を得るために会社が財務コンサルタントを必要としています。私の叔父はその仕事で完璧なスキルを持っており、この仕事に必要な技術的専門知識を持つ数少ないコンサルタントの一人です。彼の報酬は適正価格です。彼を指名することができますか。

A: 叔父さんは仕事への要件を満たしていますが、利益相反という認識が問題となる可能性があります。全ての状況を考慮に入れつつ公正な決定を下すことのできる上司にこの問題を提起してください。

贈答品および接待

当社のコミットメント

贈答品、接待、その他の有価物を、サプライヤー、顧客、競合他社、その他のCoorsTekとビジネスを行っていたり、またはCoorsTekとのビジネスを希望している相手との間で渡したり、受け取ったりしても、利益相反が生じる場合があります。

贈答品や接待、その他の有価物を時々渡したり受け取ったりすることはビジネス関係の構築において一般的かつ重要なことであるとしばしばみなされます。 しかし、それによって相手に借りがあるように感じたり、プロとしての判断力を鈍らせたりするようなことがあれば、これらの受け渡しは不適切となります。

期待されること

政府機関ではない取引先とやり取りをする場合は、以下の場合にのみ贈答品、接待、その他の有価物を受け取ることができます。

- 控えめな、または名目的価値しかないもの
- 定期的でない、一度限りのもの
- 現金、借金、現金同等物ではないもの
- ビジネスの意思決定に影響を及ぼさないもの
- 文化的な規範および国内の法律、規制に従っているもの

贈答品、接待、その他の有価物品は、250米ドル未満（相当の現地通貨額）または現地の法令で規制されている金額以下であれば、控えめなもの、または名目的価値しかないとみなされます。250米ドル（相当の現地通貨額）以上または現地で規制されている金額以上の価値の贈答品、接待、その他の有価物品は、最初に上司およびCoorsTekの人事担当にその内容および価値を示し、書面による承認を得たのでなければ、渡したり受け取ったりすべきではありません。

政府機関とやりとりをしている場合は、CoorsTekの経営陣チーム(ELT)またはCoorsTekの法務担当の許可なしには決して贈答品、接待、その他の有価物品を渡したり受け取ったりしてはなりません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 展示会や対面での顧客との打合せにおいてCoorsTekのロゴの入ったメモ帳、ペン、その他の物品を渡すことが多くなっています。これは大丈夫でしょうか。

A: はい。販売促進の性質を持ち、文化的に適切で、名目的な価値のみをもつ贈答品は渡すことができます。

ベンダーとの関係

当社のコミットメント

ベンダーとの関係を公正、公平かつ透明性のある方法で管理することにより利益相反を避けられます。ベンダーとの契約を決定する際は、品質、信頼性、技術的優位性、価格、評判、誠実さ、契約条件、法律および当社の方針の順守など、客観的な基準に基づいて行います。

期待されること

CoorsTekを代表して購入の決定を行う際には、以下を守らなければなりません。

- 客観的な基準に基づいてベンダーを選定すること
- CoorsTekの購入プロセスおよびシステムの全てに従うこと
- ベンダーについて適切なデュー・デリジェンス（事前評価）を実施すること
- グローバル基準の贈答品および接待の章で許可されている要件を超えた贈答品や接待を決して受け取らないこと
- 個人的な関係や自己の金銭的利得の機会に基づいて決定をしないこと

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 新たなサプライヤーを選定する責任を負っているのですが、私が有力視しているサプライヤーが、完売した高額なスポーツ観戦の豪華ボックス席のチケットをくれました。受け取ってもよいでしょうか。

A: この状況では、そのチケットを受け取る個人的利益と、CoorsTekにとって最善のベンダーを選定する責任とが対立する、または少なくとも対立するように見えます。 チケットを受け取る前に上司、CoorsTekの人事担当、またはCoorsTekの法務担当に相談すべきです。これらのチケットがしばしば提供されるわけではなく、コストが過度に贅沢ではなく、サプライヤーも同行し、サプライヤーがその見返りとして優遇されることを期待していないのであれば受け取ってもよいかもしれません。

インサイダー取引

当社では「内部」情報に基づいて取引をするのは、不誠実であり、不正であり、違法であると認識しています。

当社のコミットメント

CoorsTekで働いている間に、CoorsTekまたはそのサプライヤー、顧客、競合他社、その他の第三者に関する重要な未公開情報へアクセスする場合があります。このような情報は「内部」情報として知られており、例えば、以下を含む場合があります。

- 予算、予測、財務業績
- 重要なビジネス上の交渉または取引の可能性
- トップ人事の変更
- 新製品または新規プロジェクト

内部情報を知っていて企業の株式を売買するのは違法であり、CoorsTekがビジネスパートナーとの間で構築した信頼を損ないます。当社では、会社の内部情報を共有したり、それに基づいて取引をしたりすることを一切許可しません。

期待されること

内部情報へアクセスできる場合は、以下のことに気をつける必要があります。

- 公開されるまでその情報に基づいて取引したり投資したりしないこと
- 内部情報をもとに投資決定をする可能性のある家族、友人、第三者に「ヒント」を与えないこと
- 注意を払い、不正な印象を与えるのを避けること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: サプライヤーとの打合せを通じて知った情報が、私の両親が検討している投資に影響を与える可能性があります。私自身が取引をするわけではないので、彼らと共有してもいいですか？

A: いいえ。法律では、インサイダー情報に基づいて有価証券等を売買することを禁じているのみならず、その情報を取引で用いれば得をする人にヒントを与えることも禁じています。

国際貿易および関税

当社は全ての輸出管理法、経済制裁法、および関税法を順守します。

当社のコミットメント

当社は世界中で事業を営んでいるグローバル企業として誇りを持っています。グローバル企業として、どこで、誰と取引を行うことができるかを規制する国際貿易法を理解し、従うことが重要です。

これらの法律は国/地域によって異なり、急な通知により頻繁に変更されることがあります。これらの法令を順守しない場合は、当社の事業および評判に深刻な影響が及び、多額の罰金が課され、輸出特権を失う結果を招きます。

期待されること

国境を超えた製品、サービス、情報、技術の移転または輸出とみなされる業務に関わっている場合は、以下のことを実施しなければなりません。

- 当社の貿易コンプライアンス方針およびその国の準拠法、規制、要求事項の全てに従うこと
- 輸出入を意図する物品は原産国、仕向け先、最終用途、エンドユーザーに基づいて正しく分類されており、必要な全ての書類、ラベル、許可、承認が揃っているのを確認すること
- 制限または制裁されている国、地域、個人、組織などが取引に関わらないと確認すること
- 取引に適用される法律または規制について質問や懸念があれば、CoorsTek貿易コンプライアンス担当に指導を求めて問い合わせること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 収益性が高く、CoorsTekにとって長期のビジネス機会となるような新たな部品の製造を潜在顧客が提案してきました。その顧客はエンドユーザーカスタマープロファイルを記入せず、その部品の最終用途を特定することを拒否しました。最終顧客は経済制裁対象国に拠点をおいている疑いがあります。どうすべきでしょうか？

A: 貿易コンプライアンス担当に連絡を取るか、または**懸念事項を共有**すべきです。部品が制裁対象国向けであると知っている、または知る理由がある場合は、販売することができません。

補足情報

CoorsTekのイントラネット上の 国際貿易および関税ページ にアクセスして、当社のグローバル貿易コンプライアンス方針、輸出管理技術移転方針、その他の国際貿易および関税に関連した方針や手続について確認して下さい。

公正な競争

他社との競争は、活発に、しかし公正に行わなくてはなりません。

独占禁止法

当社のコミットメント

当社は、良質な製品およびサービスを市場に投入し、自由で公正で開かれた競争にその成功または失敗を委ねるという強い信念を持っています。自社製品およびサービスの価値の高さによって成功を得、自由取引を制限する可能性のある行為を避けてきました。

独占禁止法および競争法は公正な競争を促進するものであり、当社はそのような全ての法令を完全に順守しています。独占禁止法または競争法の違反は会社にとって重大な懲罰を招きかねず、関わった個人には刑事告発が待っています。

期待されること

皆さんにはそれぞれの国の独占禁止法および競争法を理解する責任があり、必要に応じてCoorsTekの法務担当に指示を求めなければなりません。

展示会や同業組合の会合などで、随時競合他社と会話を交わすかもしれません。競合他社と交流する際には注意を払い、以下の規則に従わなければなりません。

- 価格、価格設定方針、コスト、マーケティング計画、戦略計画、技術改良、独自情報、機密情報について話し合わないで下さい。
- 以下のような協定を結んだり、合意したりしないでください。
  - 製品またはサービスの価格を上げたり、設定・保持（「固定」）したりすること
  - 販売区域、顧客、市場などを分割すること
  - 別な企業が市場に進出するのを妨害すること
  - 顧客またはサプライヤーとの取引を不当に拒絶すること
  - 競合入札プロセスに介入すること（「談合」）
  - 製造、販売、または出荷量を調整すること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 展示会で、大学時代からの古い友人に偶然会いました。彼女は競合他社で働いています。仕事の調子はどうかと尋ねられました。なんと返答すべきでしょうか。

A: 一般的な、特定的でない方法で、仕事がうまくいっていると答えることにはなんの問題もありません。しかし、会話の内容が詳細に及ばないようにしてください。単に当社のビジネスについて競合他社と会話をするだけでも、当社と競合他社との間に不適切な関係がある印象を与える可能性があります。

競合情報分析

当社のコミットメント

競合他社に関する情報は通常の業務において取得することがありますが、それは誠実に、合法的に行うべきです。不誠実な、不正な、または違法な方法で他の企業の営業秘密や機密情報を取得するのは間違ったことだと認識しています。

期待されること

競合他社に関する情報について、以下のことが期待されています。

- 常に競合他社の機密情報および知的財産権に十分配慮すること
- 競合情報は、メディアでの報道、業界紙の年次報告、政府への提出書類、会社幹部による公の場でのスピーチなど、公的に入手可能な情報源からのみ入手すること。また 、顧客からの競合オファーに関する情報は守秘義務違反なく提供を受けること。
- 競合情報を窃盗、不法侵入、盗聴、コンピューターのハッキング、不実表示、または単に競争相手の情報を入手するために競争相手の従業員を採用するなど、不誠実な、不正な、または違法な活動によって収集しないこと

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 競合他社で働いていた人物を採用しました。彼に、前の会社で離職前に開発していた秘密の新製品について尋ねてもいいですか。

A: いいえ。競合他社の元従業員にビジネス上の機密情報を開示するよう求めるのは適切ではありません。競合情報は、競合他社に対する機密保持義務がない情報源を通じて収集する責任があります。

販売・マーケティングにおける真実性

当社のコミットメント

市場で誠実かつ合法的に事業を行うことの一環として、顧客には当社の製品および競合他社の製品に関する品質、機能、入手可能性について正確で事実に即した情報のみを提供すべきです。

期待されること

顧客と話すときは、決して以下のことを行ってはなりません。

- マーケティングについて紛らわしい内容を話すこと
- 製品またはサービスについて、まだ実証されていない主張をすること
- 競合他社について中傷的な発言をすること

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: CoorsTekの他の従業員と共に顧客の打合せに出席しましたが、彼は意図的かつ不当に当社の能力を誇張したように思われます。どうすべきでしょうか？

A: 可能なら、顧客との打合せ中に誤りを正すべきです。それができないなら、その従業員との間でその問題を提起するか、懸念事項を共有して誤りを訂正し、顧客が当社の能力について誤った認識を持たないようにしなければなりません。

汚職行為防止および贈収賄防止

当社は、製品やサービスの品質の力で、ビジネスを獲得しています。

当社のコミットメント

贈収賄や汚職はCoorsTekとその顧客のみに影響を及ぼすのではなく、私たちが事業を展開しているコミュニティにも影響を及ぼします。ビジネスの意思決定が、透明で公正な提案ではなく不正な支払いに影響された場合、資源が効率的に配分されず、低品質な製品とサービスが人為的に高く設定された価格で市場に投入されます。

従って、当社ではいかなる形態の賄賂、不当な謝礼、違法な支払い、強要も、また、顧客、サプライヤー、公務員、その他の第三者との間で行われる不正取り決めも、厳しく禁止します。

期待されること

公務員への対応

公務員に決して賄賂を持ちかけたり、支払ったりしてはなりません。

賄賂	公務員
「賄賂」とは、政府との契約を獲得または維持するよう働きかけたり、政府の監査や検査の結果に影響を与えたり、税金その他の法的なルールの設定に影響を与えるなど、自由裁量の判断に影響力を与える目的で渡される、金銭的価値のあるものすべてを指します。賄賂は現金の支払いとは限りません。贈答品、接待、寄付金、雇用の提供など価値のあるものならなんでも、金額にかかわらず、意思決定に影響する目的で渡されるものが該当します。	「公務員」とは政府、政府所有の組織、または以下のような政府が管理する組織で働いている人物または政府の代理人です。 ・ 政府および規制当局の職員 ・ 公職、政党、または政党の役職者の候補者 ・ 選挙で選出された、または地方政府の役職者 ・ 軍隊や地元警察を含む法執行機関の一員 ・ 国際公的機関（国連など）または慈善団体（ユニセフなど）の代表または職員 ・ 上記のいずれかの親族

販売代理人のような外部関係者に、当社の代理として公務員に賄賂を持ちかけさせたり、支払いを絶対にさせてはなりません。当社のために働いている外部者が支払った賄賂について、CoorsTekおよびその従業員に責任があるとみなされる可能性がありますので、公務員に賄賂を与えようとしている疑いのある外部者とは関わらないよう特に注意を払わなければなりません。

また便宜を図ってもらうための利益供与金を、絶対に公務員に支払ってはいけません。「利益供与金」とは公務員への少額の心付けで、通常の許可証を入手したり、通関手続をしたりなど、定常的で自由裁量のない政府行為を確保したり、スピードアップを図ったりするためのものです。

もし自身または他の人物の身の安全が危機にさらされており、利益供与金を払えば安全が保証される場合は、支払うことは仕方がありませんが、直ちにCoorsTekの法務担当に報告しなければなりません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 顧客である政府機関の職員から、娘がCoorsTekに就職できるよう便宜を図ってもらえないかと頼まれました。これに応じるべきでしょうか。

A: CoorsTekで募集中のポジションに関する情報およびその他の候補者と同じように応募する方法をその政府職員に提示することはできます。それ以上のことをするとその政府職員に賄賂を与える行為とみなされる可能性があります。

商業賄賂およびリベート

イギリスを含め、一部の国では公務員のみならず誰に対しても、誰からも賄賂を受け渡しすることを禁じています。これらの商業賄賂法の順守を保証するために、以下のことをしなくてはなりません。

- いかなる顧客、サプライヤー、そのほかCoorsTekとのビジネスがある、またはビジネスをすることを求めているいかなる人物からも賄賂やリベートを求めたり受け取ったりしないこと
- いかなる顧客、サプライヤー、CoorsTekとのビジネスがある、またはビジネスをすることを求めている人物にも、賄賂やリベートを提供したり渡したりしないこと
- CoorsTekのビジネスパートナーと交流をする際は、常に「グローバル基準」の利益相反の贈答品および接待の章を参照すること。

政府との連携

政府とのやり取りを行う際は、透明性を持って、かつ合法的に行動します。

当社のコミットメント

CoorsTekは以下のように国際組織、政府、公務員と様々なレベルで、様々な方法で関与します。

- 製品・サービスを提供しているサプライヤーとして
- 当社の利益を保護するために請願している企業市民、納税者として
- 雇用や経済的機会を世界中の都市や国家で提供している民間部門の参加者として

公務員と交流する時は、誠実に、正確に、透明性のある方法で行動し、CoorsTekの方針、手続、準拠法の全てに従います。

期待されること

政府との契約

多くの国では、政府と取引を行う企業に厳しい要件を課しています。政府機関の顧客に販売したり、政府機関の顧客と交渉したり、仕事をしたりしている時は、これらの要件に従うことが非常に重要です。 贈答品や接待の提供など、民間業界で受け入れられているビジネス慣行も、政府関連のビジネスでは受け入れ不可能であり違法である可能性があります。

さらに、政府との連携を通じて、CoorsTekは国家の安全保障にとって不可欠であり、不正開示がないよう厳しい保護を必要とすると分類されている情報や資料を預けられるかもしれません

政府との契約に関わる仕事をしている場合には、仕事に適用される全ての具体的なルールを知り、守らなければなりません。

詳細についてはCoorsTekの法務担当に問い合わせて下さい。

ロビー活動

CoorsTekは、企業市民として当社の事業に影響を与えかねない公共政策問題に関して一定の立場を取る可能性があり、法令または政府方針に影響を与えようとする取り組みをする場合があります。 しかし、ロビー活動に関する規制は国によって異なるため、CoorsTekで認定を受けた特定の人のみがCoorsTekを代表してロビー活動をするのが基本となります。

CoorsTek経営陣チーム（ELT）の適切なメンバーから承認を受けたのでなければ、CoorsTekを代表して法令や政府方針に影響を与えようとして、公務員に接触をすべきではありません。

政治活動および政治献金

CoorsTekを代表して、またはCoorsTekの利益のために、政治献金に参加したり、許可したり、渡したりすべきではありません。

従業員に、地元の政治家候補者への支援や献金など、個人として政治プロセスに参加する権利があることは認めています。ただし、自分自身の時間とお金でのみ参加すべきです。政治目的または政治献金のためにCoorsTekの名前、資金、施設、資産を使用してはなりません。

次の場合、どうすべきでしょうか？

Q: 友人が政治家として立候補しており、その選挙運動を助けたいと思っています。可能でしょうか。

A: はい。個人的な政治活動はあなた個人の問題です。但し、CoorsTekの資源、例えばCoorsTekの勤務時間、Eメール、名前などを使って選挙運動を支援することは許されません。

参考情報

グローバル行動基準を読む時間を割き、また当社の評判を保ち、The CoorsTek Way を大切にすると約束していただき、ありがとうございます。

グローバル基準で参照している方針は、皆さんが新たな状況、これまでと異なる状況に直面したときに追加の指針となるものです。

以下の表も疑問に答えたり、問題について説明したりしてくれる利用可能なCoorsTekの社内情報を示しています。

リソース	ヘルプ	問い合わせ先
クアーズテック法務・コンプライアンス担当	グローバル基準、会社の方針、法令または規制に関する懸念や質問	Legal@CoorsTek.com
クアーズテックEHS担当	職場での健康、安全、環境問題に関する懸念や質問	各地域のEHSマネージャー
クアーズテックコーポレート・コミュニケーション担当	メディアからの要請、公的声明、その他のコミュニケーション問題に関する懸念や質問	Marketing@CoorsTek.com
クアーズテック輸出入管理担当	輸出入、その他の貿易または関税関連の問題に関する懸念や質問	GlobalTradeExportControls@coorstek.com
クアーズテックHR担当	従業員関係の懸念や質問	AskHR@CoorsTek.com または各地域のHR ビジネス パートナーまたは代表者
クアーズテック品質保証担当	製品またはサービスの完全性に影響を与える可能性がある問題に関する懸念や質問	各工場の品質保証マネージャーまたは各地域の品質保証ディレクター
クアーズテックIT担当	会社のITリソースの利用に関する懸念や質問	ITHelpDesk@coorstek.com
クアーズテック政府関連担当	政府関連の問題に関する懸念や質問	Legal@CoorsTek.com

CoorsTek